

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

2030年ビジョン

独創力で、一步先行く提案型企業へ。独創的なアイデアで社会課題を解決し、世界をリードする企業を目指す。

売上高
1,000億円

営業利益
150億円

ROE
10%以上

2 中長期の経営戦略

1. 全社変革方針①価値づくり

ブランド価値の向上と新しい事業への挑戦を推進。WASHMANIAなど一般消費者向け市場へ本格参入。

3. 事業変革方針

顧客要望起点から四国化成からの提案起点へシフト。先回りした提案で世界の課題解決を追求。

2. 全社変革方針②③④⑤⑥

効率化、世界展開、ガバナンス体制確立、多様性認容風土、人材育成を同時推進。2023年1月に持株会社体制へ移行。

4. 電子化学材料領域

AIサーバー・パッケージ基板向け電子化学材料GliCAPのグローバルスタンダード獲得に注力。

3 対処すべき課題

① 化学品事業の競争激化

- ・不溶性硫黄は全世界で供給過多。2025年1月竣工の丸亀新プラント（約45億円）で高品質製品による差別化を推進…
- ・衛生管理需要の高まり。塩素化イソシアヌル酸を中心とした殺菌消毒剤事業の拡大機会を捕捉。

② 建材市場の構造変化対応

- ・新設住宅着工戸数は高度経済成長期比で約半減。デッキ・テラス・ファサード製品など新しい空間提案で市場創造。
- ・自然災害の増加・激甚化。建築基準法対応の高強度・安全性重視製品需要が増加。

③ 成長投資と経営課題の並行推進

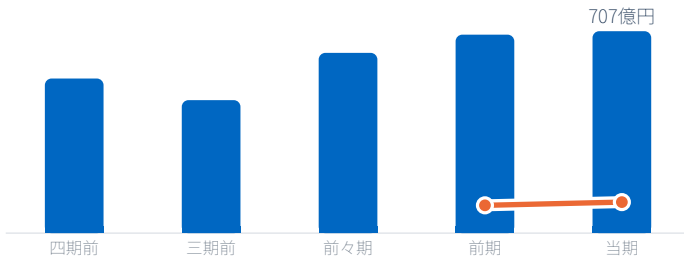
- ・徳島工場実験施設（22億円）、増田化学工業ファインケミカル設備（約22億円）…
- ・2050年カーボンニュートラル実現に向けた脱炭素化への対応が急務。
- ・2026年7月にSHIKOKUイノベーションファンド（10億円規模）設立予定。

面接で使えるポイント

- ・Challenge 1000ビジョンで2030年に売上1,000億円・営業利益150億円を目指す成長戦略の実行体制。
- ・持株会社体制への移行（2023年1月）で意思決定迅速化と事業会社の自律運営を推進。経営人材育成を同時並行。
- ・GliCAP などAI・半導体向け電子化学材料と、MEGLIOブランド建材で独創力による一步先行く提案を実践中。

証券コード 4099

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
707億円営業利益率
15.4%財務健康度
68点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 60.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
880万円
化学内 16位/204社平均年齢
50.0歳
化学内 3位/204社平均勤続
22.6年
化学内 4位/204社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに
化学品事業と建材事業を2本柱とする素材・化学企業

主力事業・セグメント

- 化学製品 74.2%
- Building素材 25.8%

強み・特徴（公開データから）

- 営業利益率15.4%と高い収益性
- 平均勤続22.6年と定着率が高い
- 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 四国化成ホールディングス(株)【4099】：決算情報

